

講義名	起業・事業承継論					授業形態	
担当教員	岡田 恵実	開講期・曜日・時間		後期 木曜日 3時限			
		単位数	2	履修開始年次	1年生	ナンバリング・コード	MAN160

主題と概要

起業はみなさんにとって身近なものでしょうか？たとえば、「起業家」と聞いて誰を思い浮かべますか？アマゾンやアップルなどの世界的企業の創業者でしうか？日本であれば、ユニクロやソフトバンクの社長、古くは松下幸之助や本田宗一郎かもしれません。彼らは確かに偉大な起業家ですが、起業家とは一部の特別な人だけが選ぶ道なのでしょうか？

実際には、起業にはさまざまな形があり、誰にとっても選択肢になり得るものです。

この授業では、起業や事業承継（第二創業）について学びながら、「起業とは何か」を探究します。
お題は限らずに、自分の考えや問題意識を表現することです。

多様な形があり、それぞれに異なる目的や背景があります。しかし、どんな起業にも共通するのは、違和感や問題意識、自分が感じたことといった「自分の根っこにあるもの」が出発点になるということです。

本科目では、起業の基礎知識を学ぶとともに、実際の起業事例やビジネスアイデアの作り方を通じて、「自分にとっての起業とは何か」を考えます。また、会社を引き継ぐ事業承継にも触れ、起業の選択肢を広い視点で捉えながら、「起業の本質とは何か」を探索していきます。

到達目標

ディプロマ・ポリシーに基づき、以下を到達目標とします。

1. 起業、事業承継（第二創業）とは何か、取り巻く環境を理解できる
2. 多様な起業の形態があることを知り、具体的な事例で説明することができる
3. 起業や事業承継（第二創業）を実現するにあたり必要な知識や考え方を理解し説明することができる
4. もし自分が起業すると仮定したとき、その起業アイデアを作ることができる

提出課題

1. 授業の学び、理解度確認
授業の終わり、授業の最初、課題のいずれかの形で、「授業の学び」「理解度確認」を提出してもらいます。(原則毎回～2回に一度程度)。
2. 期末テストとテスト(文章形式を予定)
第15回の授業で期末テストとテストを行います。
3. 期末定期試験(レポート)
期末定期試験としてのレポートを提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

個別でのフィードバックは行いません。授業の中でいくつか紹介していきます。

評価の基準

1. 授業姿勢、授業の学び、「理解度確認」、「期末まとめテスト」 70%
 出席は11回以上、「学び」、「理解度確認」等の提出回数が実施回数の2/3以上であることを単位取得の最低必要条件とします。
 出席は、授業中複数回行うWEBツール等で判断します。
 第15回に実施する「期末まとめテスト」の提出を単位取得の最低必要条件とします。
3. 期末レポート 30%
 期末レポートの提出を単位取得の最低必要条件とします。

評価項目の内容や評価割合を変更することがあります。その場合は授業及び講義連絡でお知らせします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・新聞やTV、ネットなどのニュースや記事で、記名や顔写真、事業承認に関する内容のみに積極的に触れてください。これらの自ら得た情報だけで学んだこととなり、意外と自分の身近なところにも影響を及ぼすことを理解してください。
- ・「**知見**」欄は貴重資料として扱われ、必ずしも正確な事実だけを述べなくても構いませんが、虚偽や誇張した内容を記載することは厳禁です。
- ・授業生が各々場合によって、レポートをカシジキを行ってよい場合があります。
- ・授業生がビデオカメラ、レコーダー等に際して、自己、ネット資料、教材IPI等から単独にコピーは厳禁です。これを判明した場合は、当該点数が0点となります。自分の力で課題に取り組んでください。

教科書

.使用しない.

参考図書

・エフェクチュエーション 優れた起業家が実践する「5つの原則」

吉田 満梨, 中村

ミッド社 | 1980

1980

4478110744

.9割の社会問題はビジネスで解決できる.

田口 一成

所	1760
---	------

1760

	4569849133
--	------------

その他

配布するレジュメで授業を進めていきます。

授業計画

- [illegible]

※ 順番や内容が一部変更となる場合があります。その際は授業および講義連絡でお知らせします

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：FBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	☒	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	☐	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- ・ 起業、事業承継の現状や課題にかかる知識を身につけ、企業マネジメントに関する問題探索、課題提案ができる。
- ・ 起業や事業承継の形態や行動についての、経営理論を交えながら理解することができる。
- ・ 自分が起業すると仮定したときの具体的な起業アイデア創出と、そのアイデアに基づいた事業計画の基盤を作成することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中WEBツール等を活用して、問いを出したり、意見集約等を行うことを想定しています。
グループディスカッションを行うことがあります。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。
大学卒業後、国の中小企業支援機関を中心に20年超勤務してきました。
その後、起業に関心を持つ人たちを増やす取り組みや起業支援、中小企業のコンサルティング業務などに関わってきました。
経済産業大臣認定・中小企業診断士。

備考